

「図画工作科」学習指導案

1. 日時 平成26年10月

2. 場所 教室

3. 学部・学年・組 小学部 第1学年

4. 単元名 「おべんとうバスを作ろう」

5. 単元目標

- ・遠足でのお弁当や公園を思い浮かべながら、意欲的におべんとうバス作りをする
- ・様々な手段や方法で、着色したり形を作ったりする活動を楽しむ
- ・みんなで一緒に作品を作る楽しさや、個人で作品を作る楽しさを感じる

6. 児童観 略

7. 教材観

本学年の児童は、食べ物に関心や興味をもつことが多く、給食のメニューや教材の絵本、紙芝居の中に登場する食べ物などにも興味を示しながら意欲的に活動に取り組む場面が見られる。また、本単元の設定期間の間に校外学習にて公園に行く予定であるが、校外学習ではお弁当を食べることになっており事前学習においてもその説明があった。そこで、「おべんとうバス」というお弁当を題材とした絵本を教材に選ぶことにし、校外学習への期待感を膨らませつつ様々な形でお弁当を作ることで、作る楽しさを感じていくことができればと考えた。

絵の具は、本学年児童が一学期から何度も取り組んできた馴染みがある教材である。ローラー、刷毛などでの着色は、感覚過敏のある児童においても比較的取り組みやすいので、それらの道具を使用し色を選ぶ楽しさや着色していく中での色の変化を楽しむことができるようにしたい。粘土は、一学期から小麦粉粘土に親しんできているが、まだまだ手指につくその感触が苦手な児童も多いので、比較的粘度の低い紙粘土を使用することで感触に慣れて作品作りを楽しむことができればと考えた。ハサミを使った活動においては、見本の線に沿って切ることができる児童から教師の介助で動かすことができる児童まで様々である。手指に力を入れて様々な形に切ることができる経験を積み重ねていきたい。また、糊づけにおいては、その感触が苦手な児童が多いができるだけ手指を使うようにし、どうしても難しい場合にはヘラや筆などを使用してでも楽しみながら糊づけすることができるようにしたい。

8. 指導観

本単元の設定期間中にある校外学習に向けて、バスに乗って出かけ、お弁当をみんなで食べる楽しさを感じることができるように、いろいろな素材や方法を使用して作品作りを行いたいと考えた。話言葉のみでは、具体物をイメージすることが難しい児童も多いので、お弁当に関する絵本や具体物を提示することでこれから作成するものをイメージしやすいようにする。作品作りにおいては、校外学習においても活動

の基本となるクラス単位での作品作りに取り組むことで、クラスの教師や友だちと一緒に一つの作品を作る楽しさを感じるように促したい。また、他のクラスの活動に注目できる時間も設定することで、学年全体で大きな一つの作品を作り上げていく楽しさも味わうことができるようにする。校外学習実施後には、より具体的な個々のお弁当制作にも挑戦する。

9. 単元の評価規準

造形への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
①積極的に紙や粘土に手を伸ばしている。	①自分の好きなおにぎりの具材や食べ物を選ぶことができる。	①様々な教具を使用し色つけや形作りを楽しむことができる。 ②色のつき方を自分で工夫している。	①自分や友だちの頑張りを認め合う。 ②自分の作った作品がわかる。

10. 単元の指導と評価の計画（全7時間）

次	時	学習内容	評価規準			
			造形への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
第一次	1	おべんとうバスを作ろう ① バスの色を塗ろう			①	①
	2	おべんとうバスを作ろう ② バスを完成させよう	①		①	
	3	おべんとうバスを作ろう ③ 具に色を塗ろう		①	①	
	4 (本時)	おべんとうバスを作ろう ④ バスに具をつめよう	①	①	①	
	5	おべんとうバスを作ろう ⑤ 公園の色を塗ろう			②	①
第二次	6	粘土でおべんとうバスを作ろう ① お弁当の具を作ろう	①	①		
	7	粘土でおべんとうバスを作ろう ② お弁当を完成させよう		③		④

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ①紙を丸めたり包んだりすることでおにぎりを作る。
- ②好きな具材を貼りおにぎりを完成する。
- ③作成した具材を「おべんとうバス」に入れてお弁当を完成する。

(2) 本時の評価規準

- ①手指を使っておにぎりを作ることができる。
- ②自分の好きな具材を貼るなどの活動を楽しむことができる。
- ③「おべんとうバス」の空いている所を探すなど楽しみながら詰めることができる。

(3) 本時で扱う教材・教具

おにぎり（新聞紙、薄白紙、セロテープ）、おにぎり具材（色シール）

(4) 児童の実態と本時の目標 略

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援のてだて等	評価規準・評価方法
10分 導 入	○はじまりの挨拶 ○前回までの活動を振り返る。 ○本時の活動内容を知る。	・授業の始まりを意識できるように言葉かけを行う。 ・前回までの活動を振り返ることができるように、作成してきた物を提示する。 ・本時の活動内容の手順表を提示し、活動内容を確認する。 ・おにぎりの作り方や様々な具材の貼り方、「おべんとうバス」への詰め方の見本を実際に作って提示する。	
25分 展 開	○おにぎりを作る。 ・丸めたり包んだりすることで形作る。 ○おにぎりの具材を選ぶ。 ・具材を選ぶ。 ・具材のシールを貼る。 ○「おべんとうバス」に具材を詰める。 ・クラスで1～2人ずつ前に出て具材を詰める。	・難しい時は、教師と一緒に丸めたり包んだりする。 ・難しい時は、教師と一緒に選ぶ。 ・シールの剥離紙を剥がすのが難しい場合は、教師が剥がす。 ・友だちの工夫している所は紹介し真似するように促す。 ・難しい時は、教師と一緒に入れる。 ・「おべんとうバス」の空いている場所を言葉かけや指さしで示して、工夫して詰めることができるように促す。	・自分から手指を使って形を作ることができる。 (手指や表情の観察) ・自分で好きな具材を選ぶことができる。 (言葉、指さし、発声の観察) ・手指を使って具材のシールを貼ることができる。 (手指、視線や表情、発声や言葉の観察) ・「おべんとうバス」の中をよく見て具材を入れることができる。 (手指、視線や表情の観察)
5分 ま と め	○各クラスで作った「おべんとうバス」を見る。 ・各クラスごとに簡単に工夫していたことや頑張ったことを教師と一	・できた作品をみんなに見せることで、達成感を感じることができるようにする。 ・よかった点を褒める。 ・期待がもてるように遠足で行った	

	緒に発表する。 ・次回の予告を聞く。 ○終わりの挨拶	公園の写真などを見せて、次回の予告をする。 ・授業の終わりを意識できるように言葉かけを行う。	
--	----------------------------------	---	--

(6) 教室配置等(正面を上にして、幼児児童生徒や教員の位置、準備した教材・教具の位置、配置等を示す。)

＊備考

◇当該教科・領域の年間指導計画 略